



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 I D E C株式会社
 コード番号 6652 URL http://jp.idec.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 船木 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理担当 (氏名) 西山 嘉彦 TEL 06-6398-2500
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	64,107	22.7	11,431	58.9	11,664	55.7	7,999	50.8
2022年3月期第3四半期	52,255	33.5	7,194	160.6	7,491	182.8	5,303	233.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 10,890百万円 (65.0%) 2022年3月期第3四半期 6,598百万円 (368.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	275.01	273.62
2022年3月期第3四半期	176.81	176.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	103,379	56,755	54.6
2022年3月期	94,960	49,008	51.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 56,426百万円 2022年3月期 48,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2023年3月期	—	65.00	—		
2023年3月期（予想）				65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	18.0	13,400	38.5	14,000	34.6	9,400	19.0	323.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	33,224,485株	2022年3月期	33,224,485株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,028,962株	2022年3月期	4,216,940株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	29,086,749株	2022年3月期3Q	29,997,319株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 連結業績概要	11
(2) 製品別売上高	11
(3) 仕向地別売上高	12
(4) 受注実績	13
(5) キャッシュ・フローの状況	13
(6) 設備投資額	13
(7) 減価償却費	13
(8) 研究開発費	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、原材料価格の高騰及び部材調達の逼迫化等の懸案要因はあったものの、グローバルベースでの製造業の設備投資需要は昨年度同様に堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおいては、ソリューション提供力のより一層の強化とデジタル関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等を中心にグローバルベースでさらに拡大している需要、市場要求に柔軟に対応することによって、主力のスイッチ事業・安全防爆事業を中心に売上が増加した結果、対前年同期比で、売上高・営業利益ともに大幅な増収増益となりました。

内訳としては、国内売上高は258億9千4百万円（前年同期比15.2%増）となり、海外においても、中国上海でのロックダウンによる影響もごく一時的なものにとどまり、全エリアにおいて大幅な増収となり、為替の円安効果も加わって海外売上高は382億1千3百万円（前年同期比28.3%増）となりました。これにより、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は641億7百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

利益面においては、増収効果とともに売価の適正化も順調に進み、原材料価格高騰の影響も克服して、売上総利益率は前年同期比で上昇し、さらには販売費及び一般管理費の水準適正化による販売管理費比率の低減効果と円安による増益効果もあって、営業利益は前年同期に比べ、42億3千6百万円増益の114億3千1百万円（前年同期比58.9%増）、経常利益は前年同期に比べ、41億7千2百万円増益の116億6千4百万円（前年同期比55.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ、26億9千5百万円増益の79億9千9百万円（前年同期比50.8%増）となりました。

以上による当第3四半期連結累計期間における業績結果は以下のとおりです。

	2022年3月期 第3四半期連結累計期間	2023年3月期 第3四半期連結累計期間	比較増減	増減率
売上高(百万円)	52,255	64,107	+11,852	+22.7%
売上総利益(百万円)	22,434	28,756	+6,322	+28.2%
売上総利益率(%)	42.9	44.9	+1.9	—
営業利益(百万円)	7,194	11,431	+4,236	+58.9%
営業利益率(%)	13.8	17.8	+4.1	—
経常利益(百万円)	7,491	11,664	+4,172	+55.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	5,303	7,999	+2,695	+50.8%

(為替レート)

米ドル平均レート(円)	111.14	136.52	+25.38	—
ユーロ平均レート(円)	129.86	136.05	+6.19	—
人民元平均レート(円)	17.26	19.88	+2.62	—

なお、当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

【日本】

日本においては、昨年度に引き続き半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が堅調に推移し、主力製品を中心に市場要求に的確に対応した結果、売上高は前年同期に比べ、44億1千4百万円増収の293億9百万円（前年同期比17.7%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、21億9千9百万円増益の56億8千1百万円（前年同期比63.1%増）となりました。

【米州】

北米地域においても、高水準での需要が継続するとともに為替の大幅な円安効果もあり、売上高は前年同期に比べ、36億5千6百万円増収の120億8千2百万円（前年同期比43.4%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、11億6千4百万円増益の23億2千4百万円（前年同期比100.4%増）となりました。

【欧州、中東及びアフリカ（以下、EMEA）】

欧州も、日本及び米州同様、制御用操作スイッチなど主力のスイッチ事業の売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、11億2千2百万円増収の100億6千2百万円（前年同期比12.6%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、2億6千4百万円増益の7億1千万円（前年同期比59.3%増）となりました。

【アジア・パシフィック】

アジア・パシフィック地域においては、中国上海におけるロックダウンによる影響は限定的で前年同期比増収を確保し、他のアジア地域の需要も堅調であったことから、主力製品であるスイッチ事業の制御用操作スイッチやインダストリアルコンポーネンツ事業の制御用リレーの売上が大幅に増加した結果、売上高は前年同期に比べ、26億5千9百万円増収の126億5千2百万円（前年同期比26.6%増）となり、営業利益は前年同期に比べ、9億4千4百万円増益の28億8千5百万円（前年同期比48.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の製品種類別の売上高は次のとおりであります。

【スイッチ事業】

グローバル全地域において、昨年度に引き続き設備投資需要に支えられた結果、売上高は前年同期に比べ、49億4千8百万円増収の294億9千1百万円（前年同期比20.2%増）となりました。

※HMI（Human Machine Interface：人と機械が触れ合う環境）の核となる、「制御用操作スイッチ」や「ジョイスティック」、「表示灯」などの製品群です。

【インダストリアルコンポーネンツ事業】

主力市場である米州及び中国市場での制御用リレーの売上が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、21億4千3百万円増収の122億6百万円（前年同期比21.3%増）となりました。

※機械や生産ラインなどを制御・操作するための制御盤の中に組み込み、機械・装置の制御部分の基礎として使用される、「スイッチング電源」や「端子台」、「制御用リレー/ソケット」、「サーキットプロテクタ」などの製品群です。

【オートメーション事業/センシング事業】

日本、米州及びEMEAにおいて、依然としてプログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が堅調であった結果、売上高は前年同期に比べ、17億5千1百万円増収の92億7千8百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

※産業現場や暮らしのさまざまなシーンにおける機器の自動化に貢献する各種製品、機械・装置の頭脳の役割をする「プログラマブルコントローラ」や、快適な機械・装置の操作環境を実現する「プログラマブル表示器」に加え、リテールや物流分野などさまざまな分野で活用されている「自動認識機器」などの製品群です。

【安全・防爆事業】

日本及び中国を中心に安全関連機器の需要が大幅に伸長していることを背景に、売上高は前年同期に比べ、20億4千7百万円増収の85億9千7百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

※産業現場の安全を守る「安全スイッチ」や「イネーブル装置」といった「安全関連機器」に加え、石油・化学プラントなど、爆発性のガスが存在する現場での事故を未然に防ぐ「防爆関連機器」などの製品群です。

【システム】

日本において引き続き、半導体製造設備・物流関連設備等の制御盤の売上が堅調で、売上高は前年同期に比べ、9億3千1百万円増収の35億7千7百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

※顧客ニーズに合わせてI D E Cの製品をシステム化して提供する「各種システム」、安全関連機器・安全技術を組み合わせて最適なシステムを構築する「協働ロボットシステムソリューション」などの製品群です。

【その他】

日本におけるその他システム関連製品の需要が増加した結果、売上高は前年同期に比べ、2千8百万円増収の9億5千7百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

※メガソーラーや太陽光発電電力マネジメントシステムをはじめとする「再生可能エネルギー事業」に加え、太陽光併用型農業プラントのトータルソリューションを提供する「次世代農業ソリューション」、幅広い分野での応用研究が進んでいる「ウルトラファインバブル（微細気泡）発生装置」などの事業や製品群です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、前連結会計年度末より84億1千9百万円増加し、1,033億7千9百万円となりました。これは主に、現金及び預金が14億2千6百万円減少した一方で、棚卸資産が51億4千9百万円、売上債権が23億6千6百万円、有形固定資産が11億2千4百万円、無形固定資産が6億9千1百万円増加したことなどによるものです。

負債の額は、前連結会計年度末より6億7千2百万円増加し、466億2千4百万円となりました。これは主に、未払法人税等が11億5千2百万円減少した一方で、仕入債務が8億5千3百万円、リース債務が7億1千万円、繰延税金負債が3億5百万円増加したことなどによるものです。

純資産の額は、利益剰余金が43億6千4百万円、為替換算調整勘定が29億8百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末より77億4千6百万円増加し、567億5千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年9月22日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,896	16,470
受取手形及び売掛金	11,402	13,535
電子記録債権	892	1,126
商品及び製品	7,767	11,401
仕掛品	1,959	2,634
原材料及び貯蔵品	5,845	6,685
その他	1,426	1,784
貸倒引当金	△19	△24
流動資産合計	47,171	53,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,652	9,856
機械装置及び運搬具（純額）	2,875	3,122
工具、器具及び備品（純額）	1,609	1,726
土地	5,797	5,843
リース資産（純額）	211	192
使用権資産（純額）	1,061	1,763
建設仮勘定	1,018	846
有形固定資産合計	22,227	23,351
無形固定資産		
商標権	2,383	2,469
顧客関連資産	7,587	7,829
ソフトウェア	1,064	1,083
のれん	11,593	11,936
その他	62	64
無形固定資産合計	22,691	23,383
投資その他の資産		
投資有価証券	419	659
長期貸付金	114	64
退職給付に係る資産	326	328
繰延税金資産	1,343	1,345
その他	702	669
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	2,870	3,031
固定資産合計	47,789	49,766
資産合計	94,960	103,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,186	6,021
電子記録債務	2,183	2,202
短期借入金	3,800	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,105	2,230
リース債務	360	444
未払金	809	818
未払費用	2,803	2,566
未払法人税等	2,626	1,474
契約負債	584	732
預り金	207	384
製品保証引当金	40	40
その他	953	973
流動負債合計	21,660	22,887
固定負債		
長期借入金	18,260	16,800
リース債務	962	1,589
繰延税金負債	2,799	3,105
役員退職慰労引当金	45	48
退職給付に係る負債	1,577	1,550
資産除去債務	90	118
その他	556	524
固定負債合計	24,291	23,736
負債合計	45,951	46,624
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,231	9,356
利益剰余金	34,022	38,386
自己株式	△7,759	△7,411
株主資本合計	45,551	50,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	65
為替換算調整勘定	3,061	5,969
退職給付に係る調整累計額	6	2
その他の包括利益累計額合計	3,109	6,037
新株予約権	311	328
非支配株主持分	37	—
純資産合計	49,008	56,755
負債純資産合計	94,960	103,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	52,255	64,107
売上原価	29,821	35,351
売上総利益	22,434	28,756
販売費及び一般管理費	15,239	17,325
営業利益	7,194	11,431
営業外収益		
受取利息及び配当金	29	78
持分法による投資利益	81	86
為替差益	258	271
デリバティブ評価益	32	52
その他	104	146
営業外収益合計	508	634
営業外費用		
支払利息	111	92
デリバティブ損失	—	93
その他	98	214
営業外費用合計	210	400
経常利益	7,491	11,664
特別利益		
固定資産売却益	10	13
新株予約権戻入益	22	30
特別利益合計	32	43
特別損失		
固定資産売却損	3	4
固定資産廃棄損	1	43
子会社再編損	—	126
特別損失合計	4	173
税金等調整前四半期純利益	7,519	11,534
法人税、住民税及び事業税	2,259	3,612
法人税等調整額	△9	△39
法人税等合計	2,249	3,572
四半期純利益	5,270	7,962
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△37
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,303	7,999

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	5,270	7,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42	23
為替換算調整勘定	1,378	2,908
退職給付に係る調整額	△7	△3
その他の包括利益合計	1,328	2,928
四半期包括利益	6,598	10,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,632	10,927
非支配株主に係る四半期包括利益	△33	△37

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	24,895	8,426	8,940	9,993	52,255	—	52,255
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	24,895	8,426	8,940	9,993	52,255	—	52,255
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,370	366	1,281	5,404	13,422	△13,422	—
計	31,265	8,793	10,221	15,398	65,678	△13,422	52,255
セグメント利益	3,482	1,160	446	1,941	7,030	164	7,194

(注) 1. セグメント利益の調整額164百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 財務諸表 計上額
	日本	米州	EMEA	アジア・ パシフィック	計		
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	29,309	12,082	10,062	12,652	64,107	—	64,107
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	29,309	12,082	10,062	12,652	64,107	—	64,107
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,966	473	1,793	8,083	19,316	△19,316	—
計	38,275	12,556	11,856	20,735	83,424	△19,316	64,107
セグメント利益	5,681	2,324	710	2,885	11,603	△172	11,431

(注) 1. セグメント利益の調整額△172百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 主として一時点で充足される履行義務となりますが、一部、一定の期間にわたり充足される履行義務が含まれております。なお、一定の期間にわたり充足される履行義務として認識した金額は軽微であります。

3. 補足情報

(1) 連結業績概要

①第3四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	前年同期比	通期	前年比	第3四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
売上高	52,255	133.5	70,789	131.1	64,107	122.7	83,500	118.0
営業利益	7,194	260.6	9,672	239.3	11,431	158.9	13,400	138.5
経常利益	7,491	282.8	10,398	253.4	11,664	155.7	14,000	134.6
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	5,303	333.7	7,896	281.7	7,999	150.8	9,400	119.0

②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	20,927	—
営業利益	2,300	2,552	2,340	2,477	3,153	4,406	3,871	—
経常利益	2,436	2,586	2,468	2,906	3,562	4,577	3,523	—
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,799	1,727	1,776	2,592	2,555	3,138	2,305	—

(2) 製品別売上高

①第3四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	前年同期比	通期	前年比	第3四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
スイッチ事業	24,542	133.9	33,191	132.5	29,491	120.2	39,400	118.7
インダストリアル コンポーネンツ事業	10,062	138.7	13,625	139.0	12,206	121.3	17,000	124.8
オートメーション事業 /センシング事業	7,527	130.5	9,958	121.4	9,278	123.3	10,600	106.4
安全・防爆事業	6,549	139.2	8,908	136.8	8,597	131.3	10,900	122.4
システム	2,645	110.0	3,742	106.4	3,577	135.2	4,500	120.2
その他	928	137.5	1,363	153.0	957	103.1	1,100	80.7
合計	52,255	133.5	70,789	131.1	64,107	122.7	83,500	118.0

②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
スイッチ事業	8,115	8,225	8,201	8,648	9,724	10,283	9,483	—
インダストリアル コンポーネツ事業	3,264	3,459	3,338	3,563	4,002	4,519	3,684	—
オートメーション事業 /センシング事業	2,499	2,574	2,453	2,431	2,578	3,665	3,034	—
安全・防爆事業	2,085	2,231	2,232	2,359	2,577	2,976	3,043	—
システム	901	853	890	1,097	950	1,213	1,413	—
その他	403	240	283	434	323	365	268	—
合計	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	20,927	—

(3) 仕向地別売上高

①第3四半期連結累計期間

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	前年 同期比	通期	前年比	第3四半期	前年 同期比	通期予想値	前年比
国内売上高	22,477	127.5	30,904	125.4	25,894	115.2	34,200	110.7
海外売上高								
米州	8,411	135.2	11,532	135.5	12,014	142.8	—	—
EMEA	8,744	135.5	11,747	132.4	10,113	115.6	—	—
アジア・ パシフィック	12,621	142.8	16,604	138.8	16,085	127.4	—	—
海外売上高 計	29,778	138.4	39,885	135.9	38,213	128.3	49,300	123.6
合計	52,255	133.5	70,789	131.1	64,107	122.7	83,500	118.0

②四半期別推移

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
国内売上高	7,343	7,305	7,828	8,426	8,319	8,944	8,630	—
海外売上高								
米州	2,715	3,009	2,686	3,121	3,457	4,273	4,283	—
EMEA	2,975	2,996	2,772	3,002	3,314	3,615	3,183	—
アジア・ パシフィック	4,234	4,274	4,112	3,983	5,065	6,189	4,829	—
海外売上高 計	9,926	10,280	9,571	10,107	11,837	14,078	12,296	—
合計	17,270	17,585	17,399	18,533	20,157	23,022	20,927	—

(4) 受注実績

(単位：百万円、%)

	2022年3月期第3四半期				2023年3月期第3四半期			
	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本	35,174	171.6	16,069	339.5	28,317	80.5	17,057	106.1
米州	10,952	165.8	4,459	276.1	13,094	119.6	6,038	135.4
EMEA	11,182	174.9	5,853	188.5	11,431	102.2	8,531	145.8
アジア・パシフィック	12,469	186.4	5,345	278.6	9,236	74.1	4,211	78.8
合計	69,779	173.6	31,727	279.0	62,079	89.0	35,838	113.0

(5) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,126	3,119	861	3,545	△158	3,590	479	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924	△748	△469	756	△602	△879	△1,146	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,451	△1,150	△2,993	△2,983	△1,917	△384	△1,434	—
現金及び現金同等物期末残高	14,826	16,135	13,831	15,203	13,039	15,521	13,019	—

(6) 設備投資額

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	前年同期比	通期	前年比	第3四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	1,498	56.3	2,503	70.2	3,057	204.1	3,700	147.8

(7) 減価償却費

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	前年同期比	通期	前年比	第3四半期	前年同期比	通期予想値	前年比
連結	2,436	107.5	3,264	109.5	2,621	107.6	3,600	110.3

(8) 研究開発費

(単位：百万円、%)

	2022年3月期				2023年3月期			
	第3四半期	売上比	通期	売上比	第3四半期	売上比	通期予想値	売上比
連結	1,909	3.7	2,593	3.7	2,191	3.4	2,800	3.4